ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 169 号
（初刊：2011 年 11 月 6 日）
発行日：2025 年 11 月 10 日
発行元：ふるさと公園応援隊
編集責任者：深澤　満

冬へ急速に進む秋～地球はどうなるのか?!

10 月の定例作業日(10/28)は、冷たい北風が吹いていましたが、陽射しもあって、マアマアの作業日和でした。参加者は 16 名。

林内班の 9 名は、B-1 地区～バイオネスト隣接部の整備作業。巡回・ゴミ班の 7 名は、東西通り-県道-サッカー場-湿地--桜木神社通り-中央通りを廻りました。コース記号は、イ-K-L-l-F-G-O-P’-a-a’-k-i-ロ- i-C-B-j-L-K となります。

［10/28 集合写真］

はじめに、林内班･**三浦さん**からの報告感想です。

『最低気温 11 度、風もあって体感温度は低く、かなり寒く感じた。富士山に初冠雪もあり季節は冬に向かい一歩一歩近づいているようだ。その寒さのせいもあってか、集合写真撮影の際、代表のデジカメの電池容量不足で、スムーズに作動しないハプニングがあった。シャッターが切れず撮影がままならない焦りとその困った感に、笑いが生じる一幕もあり初動から和んだ雰囲気となった。

集まったのは 15 人。巡回班 7 人、林内班 9 人に分かれてスタートした。

林内班は前回に続きバイオネストの一帯とした。

現地に着くと誰と無くボーイスカウトのエリアも、もう少し手入れしたらもっと良くなるとの声もあがったので、急遽その刈り払いも追加することにした。前回刈り残したバイオネストエリアも含めどちらもアカメガシワ･山桑･タラノキなど伸びた背の高い幼木が占めているため、鬱蒼として林の見通しが極めて悪いので、その解消がこの日の作業となった。

刈り払い機 2 台で下刈り、チェンソーは枯れた樹の伐採と玉切り、それ以外の人は刈り込み鋏･鎌･太丸を携え低木の伐採をしながら集めた枝葉をバイオネストに運び投入する作業だ。いざ作業に着手してみて驚いたのはそれまでは見えなかった落下枝、それに大きな樹がまるごと倒れていたことだ。中にはかなりの大木が根ごと倒れていたこと。その上には蔦草が覆っていたので見えなかっただけで刈り払いを進めていくと刈り払い機の刃に蔦が絡むなどスムーズに進まず手間取り難儀させられた。

上空を見ると未だエリア内には太い枝が着いた立ち枯れ木、途中から折れた枯れ枝が隣の枯れ木にもたれかかり何時落下するか判らない危険な樹が未だ残っていた。そのため不用意に林に入った人達に落下して事故に遭って大変なのでそうした樹を中心に一定の範囲の刈り払いをせず残した。こうした危険防止の配慮をしながらの作業となり予定エリア全部は出来なかったが休憩を挟みこの日の作業を無事終えた。青空が覗き寒さを感じたが気持ちの良い作業日だった。』

［10/28 林内班集合写真］

［10/28 林内作業-1］

［10/28 10/28 林内作業-2］

［10/28 やれ､一休み･･･］

次いで、巡回･ゴミ班の**チョコさん**からの報告･感想です。

『久々のお天気の中でも北風が吹いていましたが、巡回ゴミ班で県道沿いのセイタカアワダチソウの抜根を頑張り、汗ばみました。

また刈込みされて綺麗になった沿道の内側は、今まで雑草でみえなかった埋もれたゴミが目立ち出していました。可成りの埋もれゴミを抱えながら旧管理棟に戻りました。

湿地は、刈込みが綺麗に済み広々とスッキリした姿をみせていました。前回までセイタカアワダチソウの抜根で大変な思いもしましたが、根っこからの引抜きが、来年以降に少しは良い結果として表れることをねがっています。』

［10/28 巡回･ゴミ班集合］

［10/28 県道沿い作業］

［10/28 **埋もれていた**ごみを･･］

［10/28 ゴミ集約］

それにしても今年は、キノコがこれまでになく目立ちましたね～。

作業終了後に、昼食会を行いましたが、参加者は 6 名でした。なお、**11 月の定例作業日（11/25）も昼食会をやる予定**です。

～～～～～～～～～～～～

10 月の第二作業日（10/14）は、朝から曇りで北風がソヨリの作業日和でした。

参加者は 14 名。林内班の 8 名は、B 地区～バイオネスト周辺の整備。別班 1 名は、旧管理棟導入路脇の垣根の選定。

巡回・ゴミ班の 5 名は、東西通り-県道-サッカー場-湿地-新園路・中央通りを廻りました。コース記号は、イ-K-L-l-F-G-O-P’-a-a’-k-i-ロ- i-j-L-K となります。

［10/14 集合写真］

まずは、林内班・三浦さんからの報告感想です。

『10 月に入ってようやく猛暑から開放され、いつしか秋らしさが漂う陽気となった。気温も 20 度前後と一寸寒さを感じさせたが、活動日としては最適の日和に思えた。

カルチャーの森はかつて無い程の厳しい猛暑を乗り越え息を吹き返したように色濃く繁っていた。中でもアカメガシワやセイタカアワダチソウをはじめ様々な種類の草木の伸長が目立っていた。この日集まったのは 14 人、巡回班 6 人、林内班 8 人に分かれてスタート。

この日の作業地はバイオネストを中心としたエリアとした。前回 9 月定例活動日では、隣のボーイスカウトエリアの草木の伸長繁茂が著しいばかりでなく、道路に大きく

はみ出し利用者や車両の通行を阻害しおり見過ごしに出来ず、急遽その解消のため最小限の刈り払いをした。が、その結果、それまで我々が手入れしてきたバイオネストエリアの草木の伸長が逆に目立ってしまった。この日はバイオネスト一帯の刈り払いとともに、バイオネストの修復とこの日刈り払いで発生した草木の投入などの作業を、８人全員で手分けして整備をした。

この作業地とは別の旧管理事務所へ向かう園路の右側に植栽されている「錦木」の植樹帯も同様にはみ出し部分の剪定と片付けも合わせて行った。この日バイオネストエリア全体の刈り払いは終わらなかったが、刈り払いが終えた一部は見通しがきき一段と広く感じられるように変化した。次回の活動日では残ったエリアの刈り払いと立ち枯れして危険な樹の伐採を予定している』

［10/14 林内班集合写真］

［10/14 林内作業-1］

［10/14 林内作業-2］

巡回・ゴミ班が園内を回った結果、特徴的だったのは次の通りです。

＊県道沿いにセイタカアワダチソウの黄色い花が目立ちました。（10/28 に対応）

＊湿地では、セイタカアワダチソウの抜き取りに挑戦（約 40 分？）

＊「湿地」はカラカラに近い状態でした。

なお巡回･ゴミ班では、１名が早退するため先行し、途中で多くのゴミを発見し、ちょうど通りかかった管理人さんに手伝ってもらいました。

［10/14 巡回･ゴミ班集合写真］

［10/14 湿地にて-1］

［10/14 湿地にて-2］

［10/14 湿地にて-3］

［10/14 ゴミ集約］

［10/14 別班作業］

11 月の作業予定

定例作業日:11 月 25 日(火)

この日は作業終了後現地にて
食事会をします(参加自由･弁当持参)

第二作業日:11 月 11 日(火)

作業時間__9:30～11:30

＊作業内容:ゴミ拾い･林内作業

＊持ち物：手袋､タオル､雨具、**飲み物**､念のため、保険証・お薬手帳など

荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、
深澤まで[090-8014-3310]
連絡下さい 。

2025 年 12 月 23 日

- **応援隊きらくな懇談会　生涯学習推進センター101 会議室**
  10 時～
- **忘年会　ちとせ**
  12 時～

2025 年 11 月～2026 年 3 月の予定

11/11(火)、11/25(火：定例)、　12/16(火) 、12/23(火) は応援隊きらくな懇談会・忘年会
1/13(火)、1/27 (火：定例)、　2/12(木)、2/24(火：定例)
3/12(木)、3/31(火：定例)　、
3 月中-下旬～4 月上旬：総会的懇談会

カルパーぐるぐるネットワークの予定

自然観察会(10 時～12 時･管理棟前集合)

12/20 (土) **いろんな落ち葉､いろんな木の実。**
冬の生きもの～フユシャクガ､クヌギカメムシ産卵ほか。

2/14 (土) 冬芽と葉痕。
冬越しの生き物たち～イラガの繭　ほか。

落ち葉掃きと焼き芋
1 月 12 日(月･祝)

新型コロナについて

WHO は「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了しましたが、同時に「ウイルスは命を奪い続け、変異も続けている。宣言の終了をもって各国は国民に、新型コロナは心配ないというメッセージを送ってはいけない」と述べています。
ということで、従来の予防策に準じた行動を基本とします。

感染予防対策

- 間隔をとっての行動。(体操･作業)
- マスク着用：各自の判断とします。
- 作業間隔の短縮・水分補給。
- 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。

なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。

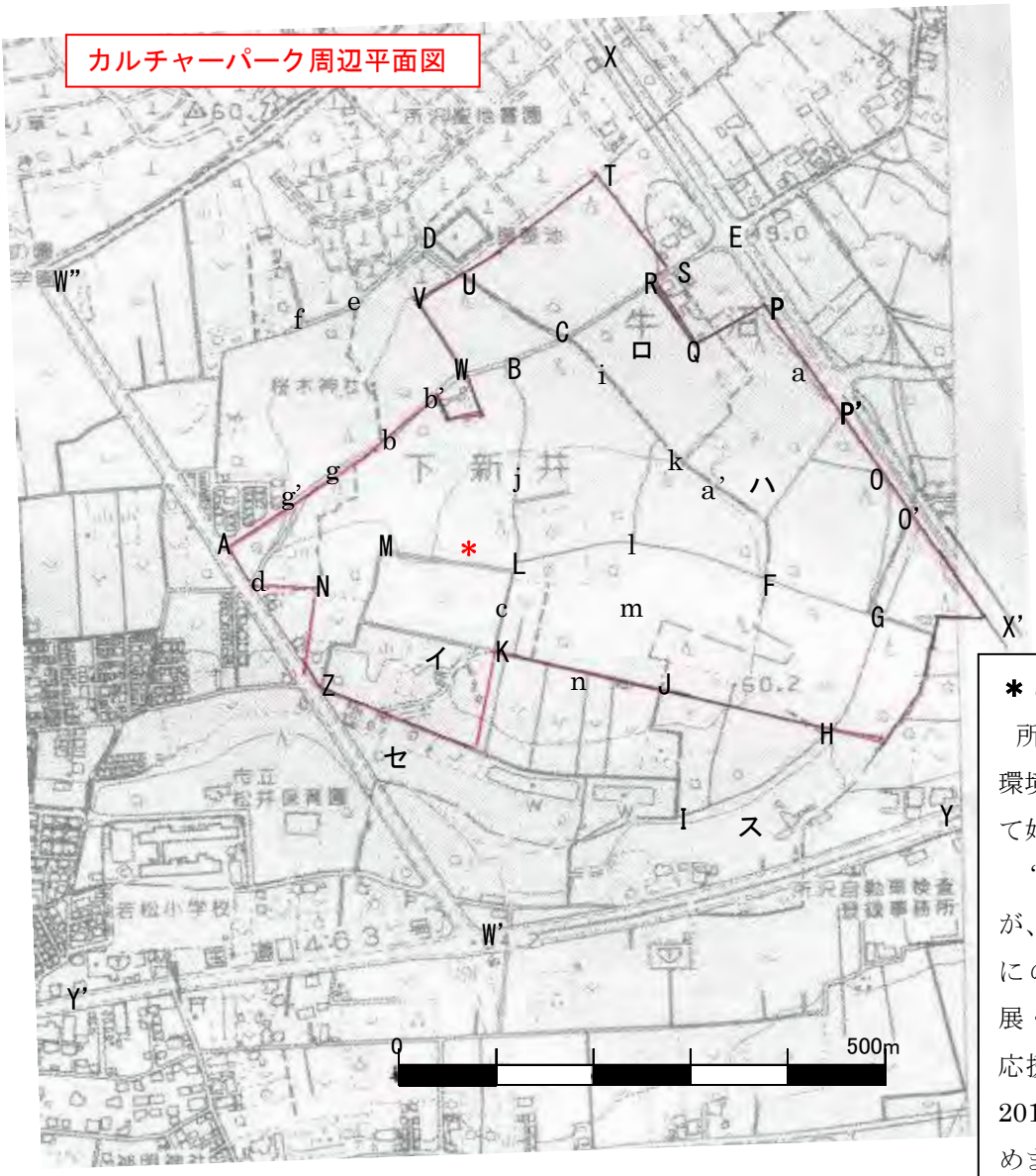
各種感染症注意!!

インフルエンザ･コロナをはじめとして、各種感染症が流行しています。手洗いなどの感染対策とともに、日常からの、「バランスのとれた栄養補給」「適度な運動」「快適な睡眠」などで、しっかりと体調管理をしましょう。

新型コロナ等の感染症発生時の対応

①毎回参加者名簿を作成する
（三浦さんがつけている出欠簿による)。
②次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
*. 症状があり、検査を受けた時。
*. 検査結果と医師・保健所などの指示があったとき。
③感染者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。

カルチャーパーク周辺平面図



カルチャーパーク周辺　名称

地点名	イ	現在のデイキャンプ場
	ロ	湿　地
	ハ	現在のサッカー場
	セ	特養、グループホーム
	ス	産　廃
	E	交差点「開発」
	W’	交差点「牛沼」
通り名	X-E-X’	県道東京狭山線
	W”-A-W’	市道　カルチャーパーク通り
	Y-W’-Y’	国道
園内通り名（仮称のたたき台です）	A-B-C-E	桜木神社通り
	D-C	霊園通り
	C-F	サッカー場通り
	B-L-K	中央通り
	L-F-G	東西通り(L-F:フラワー通り)
	G-H	東通り
	K-J-I	農道
	I-H	産廃裏通り

園内の通りの名称は仮称(たたき台)です。
皆さんからの御意見をお寄せください。

＊この「応援隊」は

所沢市民大学 18 期「都市の環境」講座の受講生が呼びかけて始められました。

“所沢カルチャーパーク”が、「平成 11 年度基本構想」にのっとった公園として発展・整備されるように見守り、応援してゆくことを目指し、2011 年 10 月より活動をはじめました。

定例作業は毎月最終火曜日

まずはゴミ拾いと散策から取り組んできましたが、現在は「森の再生」をも念頭に置き、作業内容も広げています。

どなたでも参加できますのでお気軽にどうぞ。

追加の予備作業日については、「かわらばん」でお知らせします。

＊お願い

「かわらばん」の発行は、定例作業日(毎月最終火曜日)の翌月 10 日となっています。

参加された皆様、写真や感想メモのあるかたは、**翌月の５日**までに深澤まで送ってください。よろしく。